

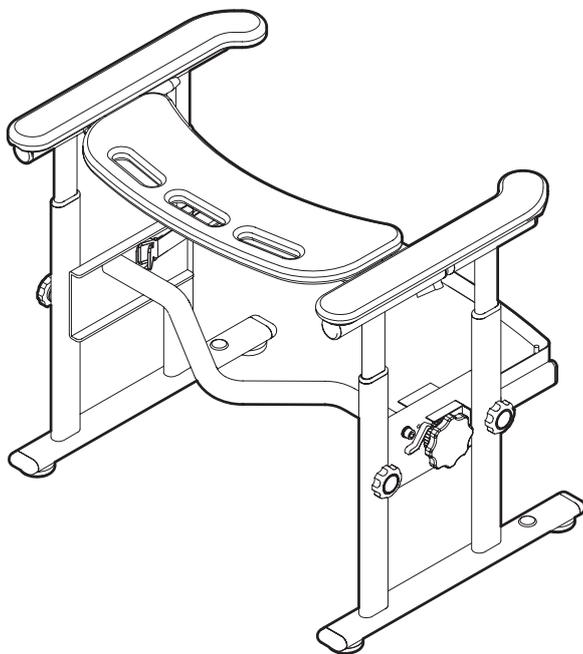
施工説明書

工事店様用
施主様用

トイレの姿勢保持手すり



施工の前には必ずこの説明書をよくお読みいただき、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。



もくじ

安全上のご注意	1~2
製品品番表	3
部品の確認	3
施工のしかた	4~11
施工後のチェックリスト	11
手すりを床に固定する場合	12
メモ	13~14
お客様ご相談窓口のご案内	15

■安全上のご注意警告■ 必ずお守りください。

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生ずる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 警告	「死亡や重症などを負うおそれがある内容」です。
---	-------------------------

 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。
---	----------------------------------

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次の図記号の例です。）

 してはいけない内容です	 実行しなければならない内容です
---	---

警告

- 床に腐食やガタツキがある場合には取り付けない。
床全体に強度が無い場合は全体重がかかった時、本体がはずれケガをするおそれがあります。
- 火気やストーブ、ファンヒーターのそばで使用しない。
火災や火傷の原因となり大変危険です。
また、熱で変質や破損を引き起こしたり、事故の原因となります。
- お客様による分解、改造、修理はおこなわない。
性能の低下を引き起こし、事故の原因となります。
- 商品梱包用のポリ袋やシートはかぶらない。
窒息するおそれがあります。
- アジャスターは5mm以上伸ばして使用しない。
手すりが不安定となり、転倒してケガをするおそれがあります。
- 手すりの高さや位置をご利用者の身体状態に合わせないまま使用しない。
手すりの高さや位置はご利用者様の身体状態に合わせ、適切な設定と設置をおこなってください。
身体状態に合わない無理な高さや位置で使用すると体を痛めたり、転倒してケガをするおそれがあります。
- 各部ねじの締め具合を確認しないまま使用しない。
手すりが不安定となり、転倒してケガをするおそれがあります。
点検で各ねじに異常が見られる場合は使用せず、部品交換してください。



禁止



必ず守る

- 定期的に部品の破損、ネジのゆるみ、ガタツキ、また異常がないことを確認する。
異常が発生した場合は直ちに使用をやめ、販売店や貸与事業者にご相談してください。
- 製品が破損、または正常な状態でない時は使用しない。
製品や設置が正常でない時に使用するとケガの原因になります
- ジョイントバーを便器に押し付けた状態でしっかりベルトを巻き付けてから使用する。
取り付けが不安定になりケガをするおそれがあります。

■安全上のご注意■



- タワシや磨き粉、研磨剤入りのスポンジ等、あるいは塩素系洗剤、酸・アルカリ性洗剤、シンナー・クレゾール等は使用しない。
プラスチックが劣化または破損しケガをするおそれがあります。
- 製品は直射日光の当たらない乾燥した常温の室内で保管する。
色あせやひび割れの原因となります。
- 直射日光にあてたり火気に近づけない。
色あせやひび割れの原因となります。
- 樹脂製便器には取り付けない。
便器が破損しケガをするおそれがあります。
- トイレマットの上に設置しない。
不安定になり転倒やケガの原因となります。
- ノブボルトやハンドルは工具を使って締め付けない。
破損の原因となります。



- 持ち運びの際は商品が落下しないよう注意する。
各部のネジがゆるんでいないことを確認して下さい。手すりの変形・破損・ケガの原因となります。
- 組み立て、高さ調整は、納入業者の方がおこなう。
正しく組み立て、高さ調整ができていない場合、手すりが不安定となり転倒などの事故の原因となります。
- 製品に異常を見つけた場合は使用を中止する。
正しく設置できない場合や機能を損なう状態の場合は直ちにご使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

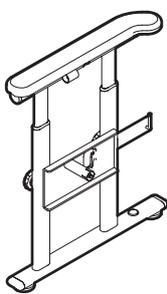
■ 製品品番表 ■

品名	品番コード	TAISコード	重量
まえてあ	MT-100	00837-000018	13kg

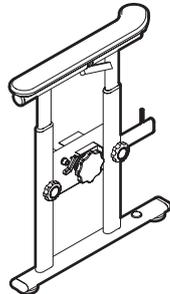
■ 部品の確認 ■

・ 開封後、まず同梱包部品を確認してください。

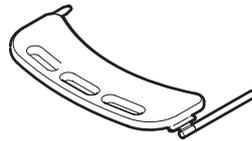
① 製品



手すりフレーム
本体 (右) 1台



手すりフレーム
本体 (左) 1台



前手すり 1枚



ジョイントバー 1本

② 付属品



六角レンチ 1本



取扱説明書 1冊

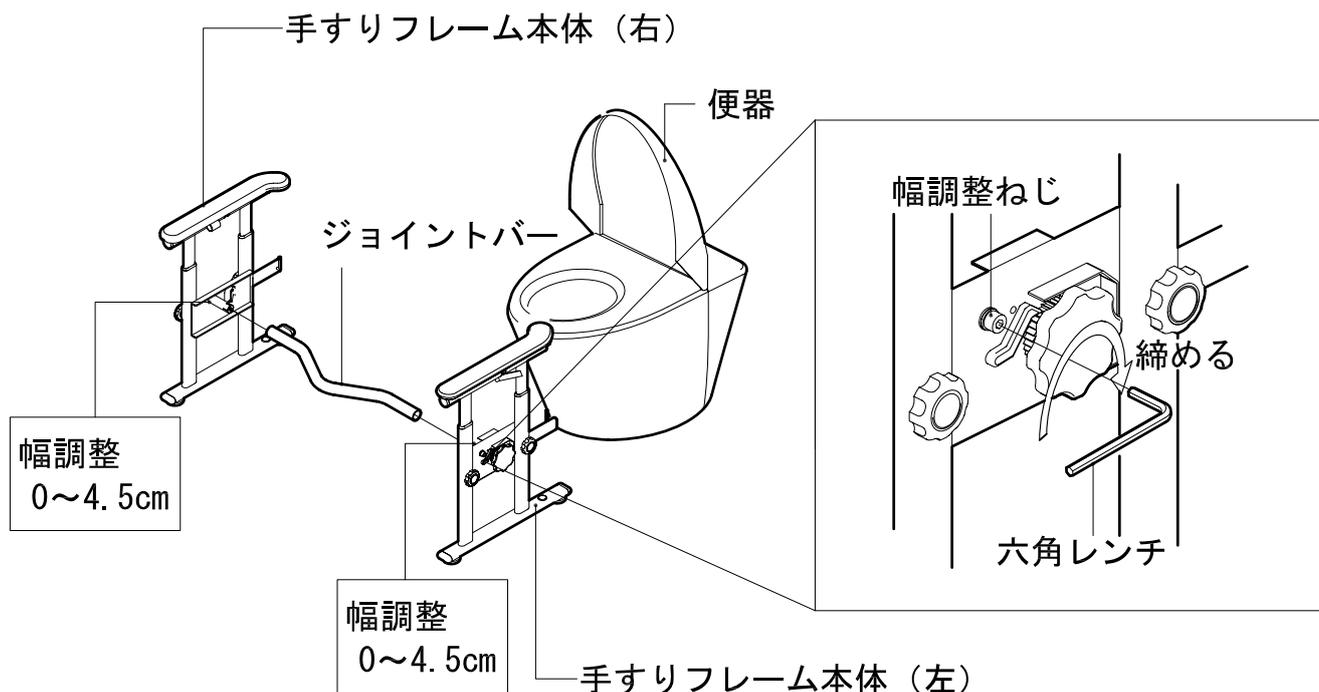


施工説明書 1冊

■ 施工のしかた ■

① 手すりを便器の幅に合わせて組み立てる。

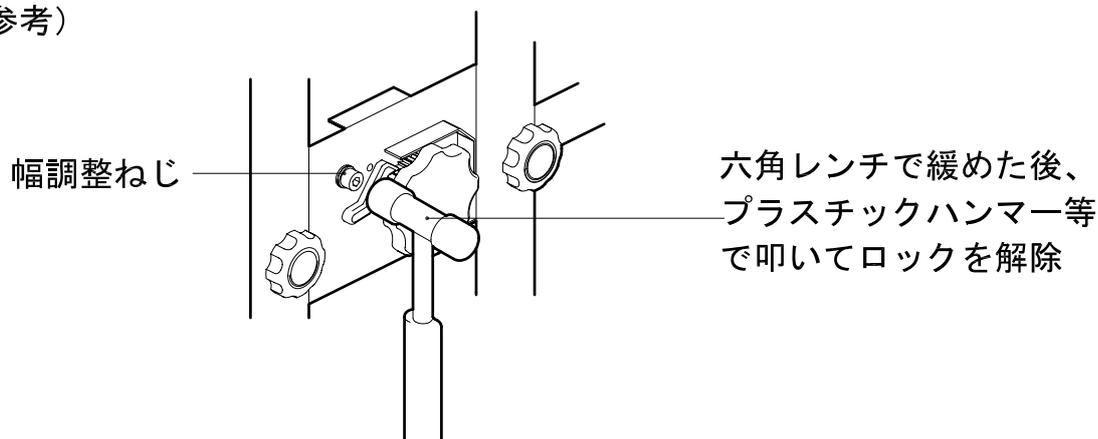
「手すりフレーム本体（右）」「手すりフレーム本体（左）」「ジョイントバー」の各部品を組み立てて便器の幅に調節し、幅調整ねじで仮組してください。



○ 幅調節ねじ締め付け後のロック解除方法

一度締め付けた後、再度幅調節をする場合はロックを解除する必要があります。
幅調節ねじを六角レンチで緩めた後、プラスチックハンマー等で叩いてロックを解除します。

（下記イラスト参考）

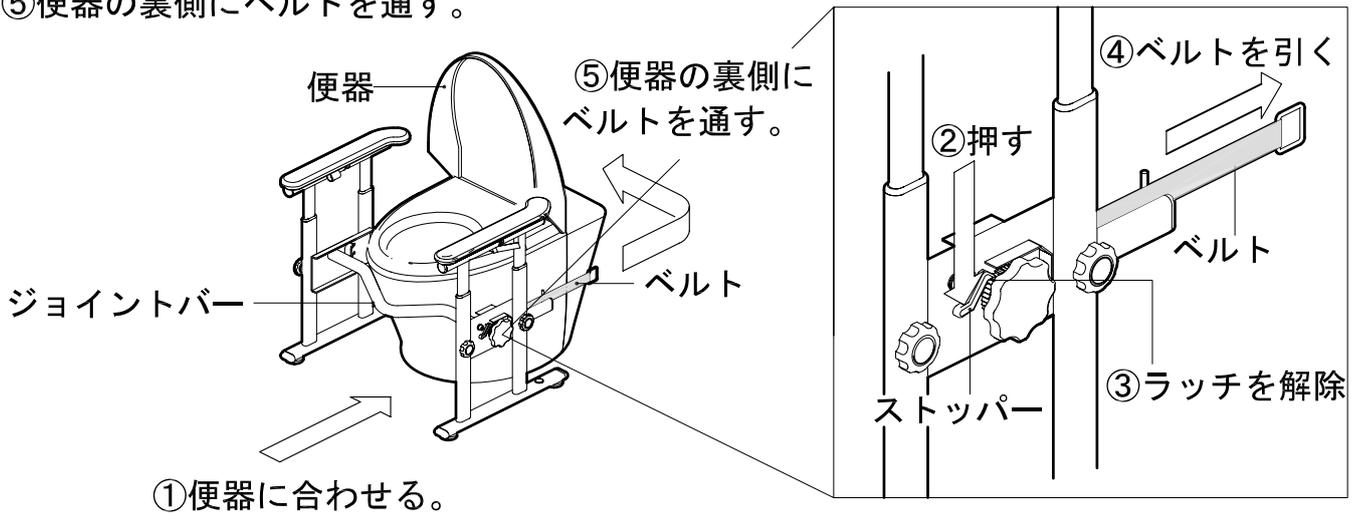


■ 施工のしかた ■

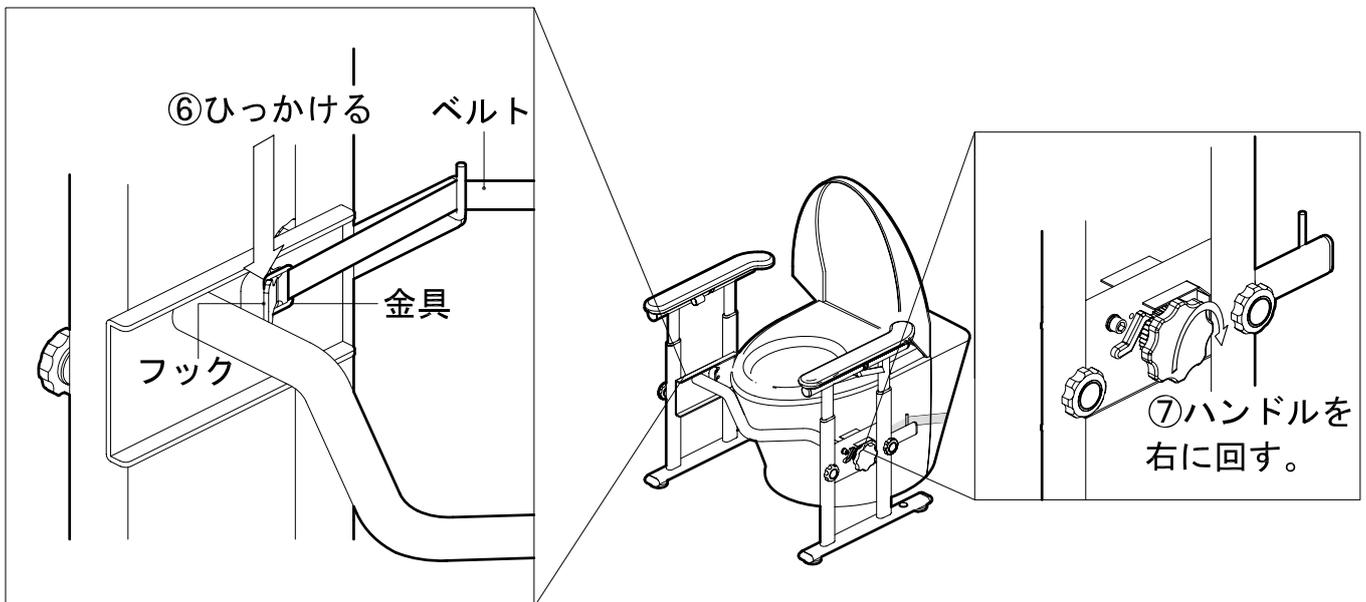
② 便器への仮固定

下記の手順で便器にベルトを通して仮固定してください。

- ① 仮組した手すりを便器に合わせる。
- ② ストッパーを押す。
- ③ ラッチを解除
- ④ ベルトを引き出す。
- ⑤ 便器の裏側にベルトを通す。



- ⑥ ベルトの先端の金具を脚部（右）のフックにひっかける。
- ⑦ ハンドルを右に回してベルトを軽く締めて仮固定する。



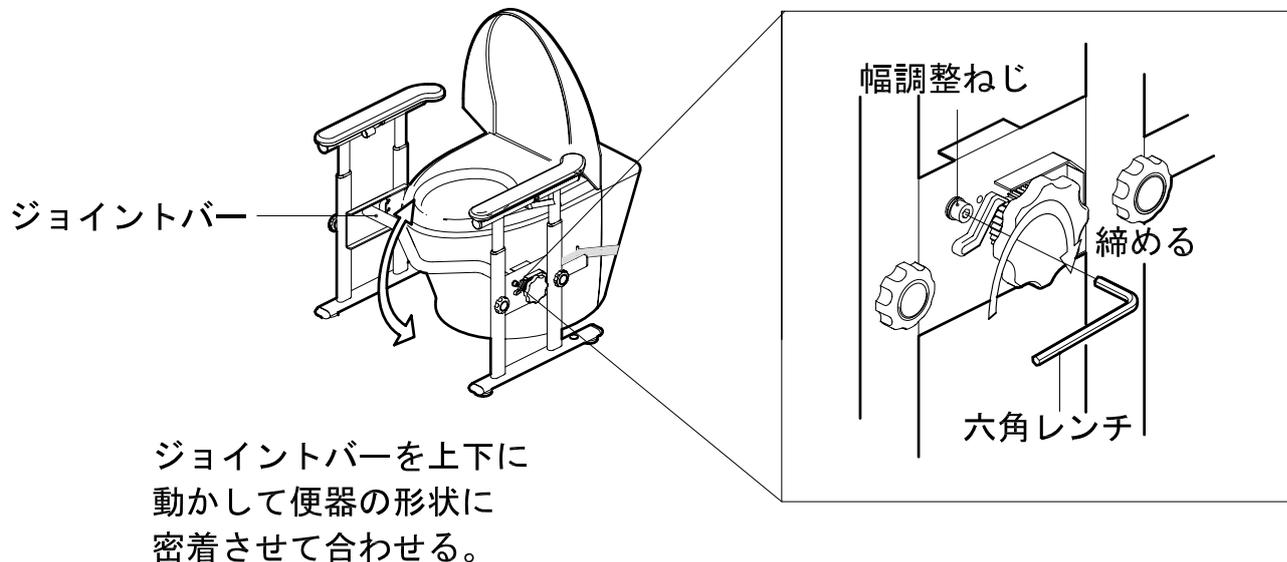
⚠ 注意

フックに金具をひっかけているか必ず確認してください。
違うところに金具をひっかけると破損する恐れがあります。
ベルトはねじれないように固定してください。

■ 施工のしかた ■

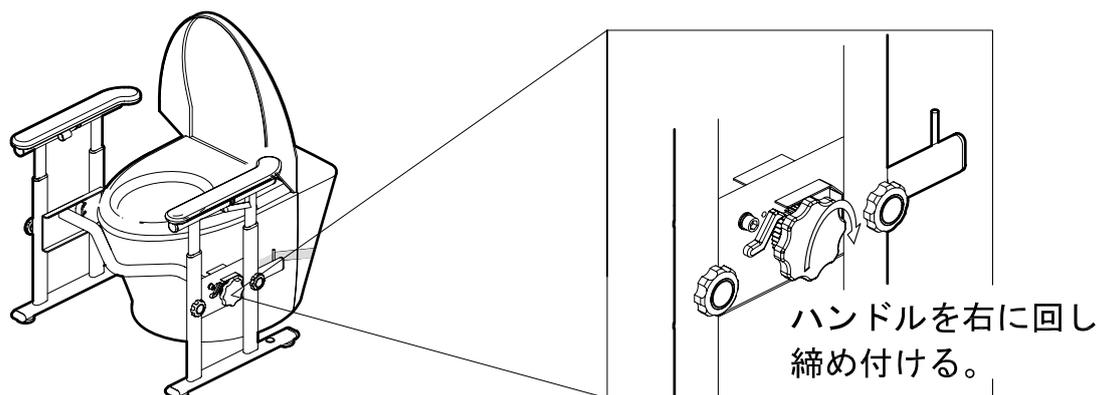
③ ジョイントバーの角度調整

ジョイントバーの角度を便器の形状に合うように調整してセットしてください。
六角レンチを使用して、左右の脚部の幅調整ネジをしっかりと締め付けてください。



④ ベルトを締めて便器に固定

②で仮固定していた製品をハンドルを右に回してベルトをしっかり締め付けて固定してください。



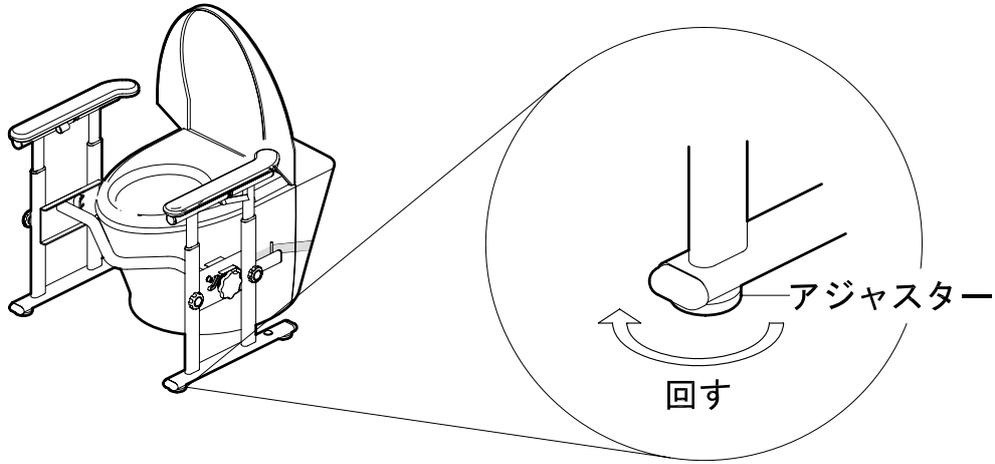
⚠ 警告

ジョイントバーを便器に押し付けた状態でしっかりベルトを巻き付けてください。

■ 施工のしかた ■

⑤ アジャスターの調整

脚部のアジャスター（4か所）を回し、高さを調整してガタツキが無いよう設置してください。



警告

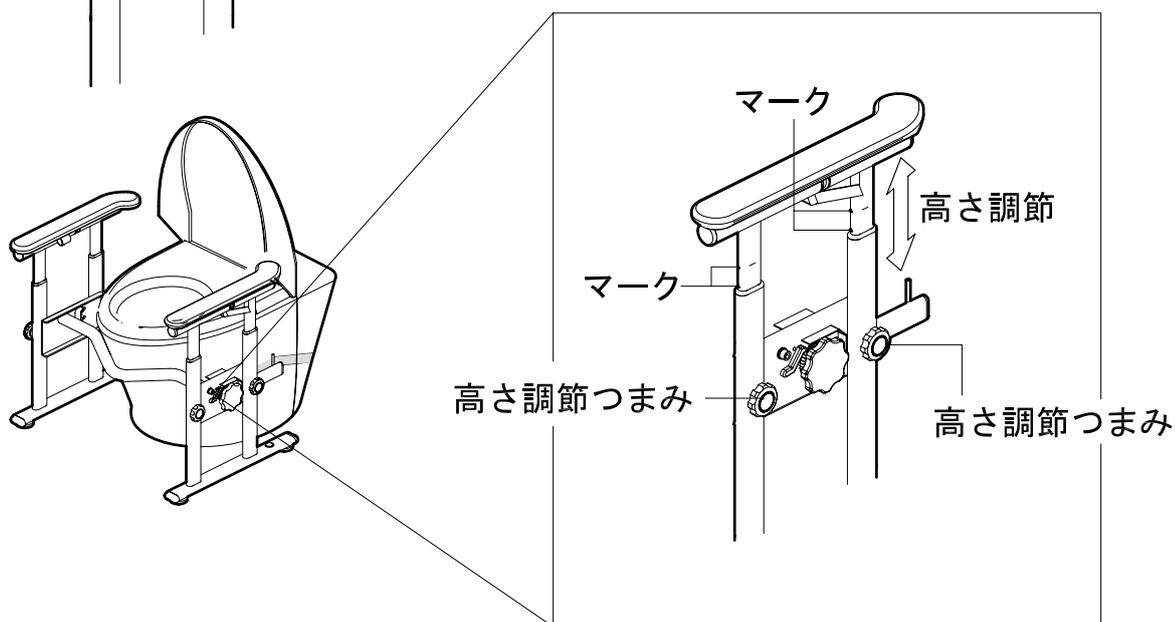
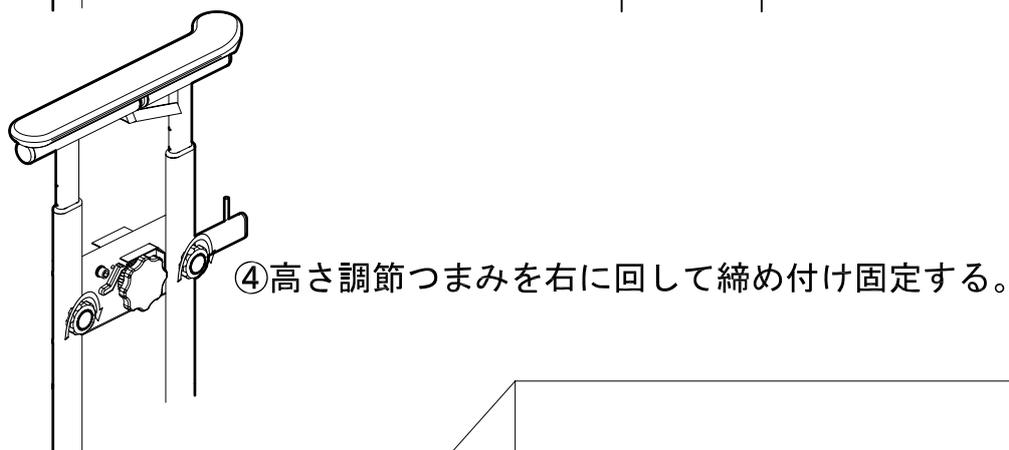
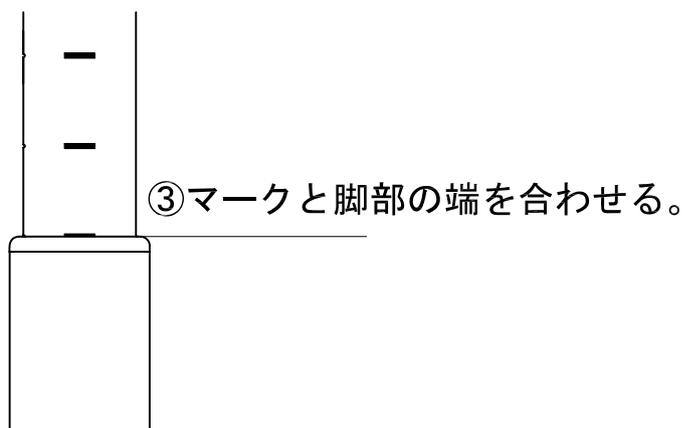
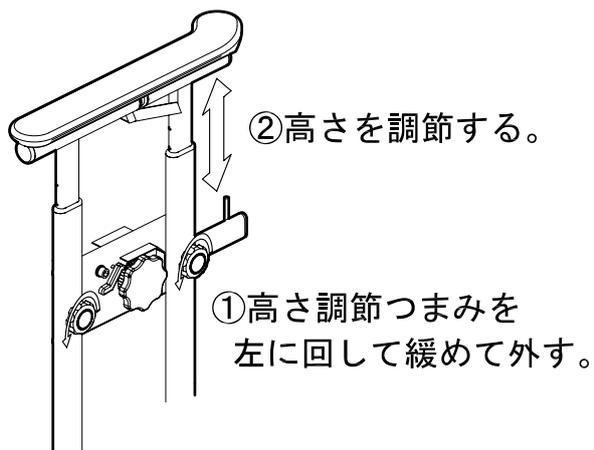
アジャスターは5mm以上伸ばさない
てください。

■ 施工のしかた ■

⑥ ひじ掛け高さ調節

下記の手順でひじ掛けの高さを調整してください。

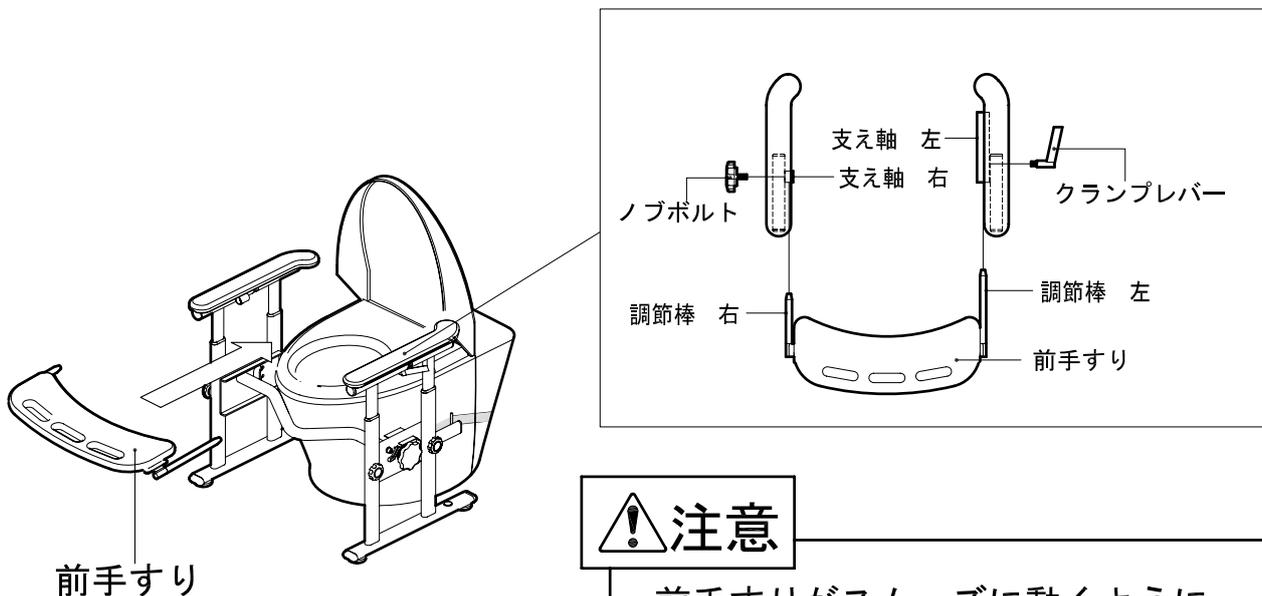
- ① 高さ調節つまみを左に回して緩めて外す。（左右のひじ掛け 合計4カ所）
- ② 高さを調節する。
- ③ マークと脚部の端を合わせる。
- ④ 高さ調節つまみを右に回して締め付けて固定する。



■ 施工のしかた ■

⑦ 前手すりの幅調節

前手すりの幅を調節し、トイレ手すり本体に差し込んでください。



⚠ 注意

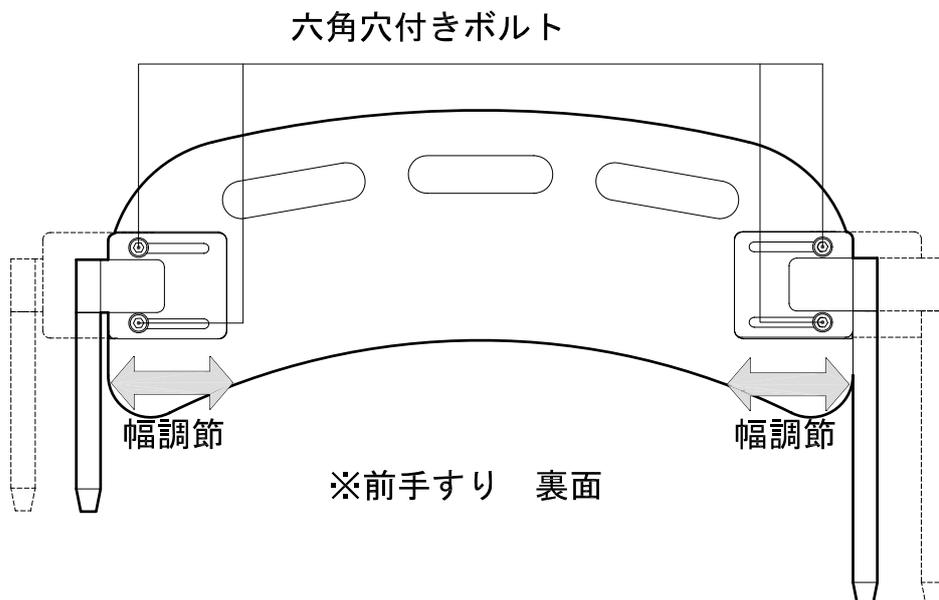
前手すりがスムーズに動くように調節してください。

○ 前手すりの幅調節

トイレ手すり本体と接合できるように幅を調節してください。

付属の六角レンチを使用して、六角穴付きボルトを緩めて左右の調節棒と支え軸がスムーズに入るように左右均等に位置を合わせてください。

調節後、六角穴付きボルトをしっかりと締めつけてください。



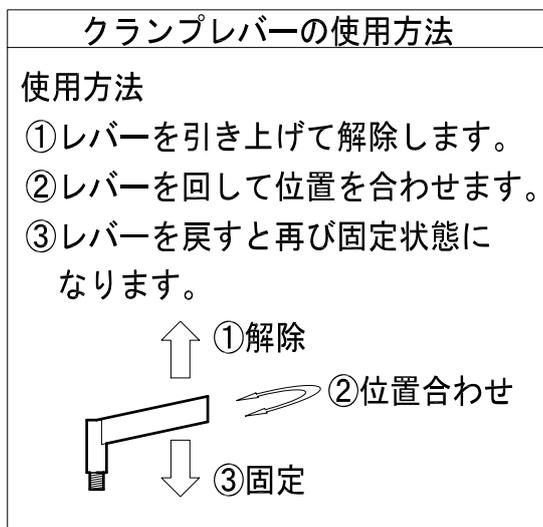
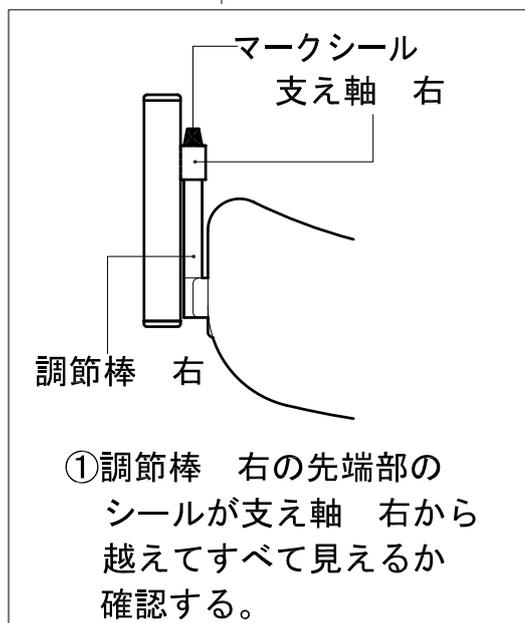
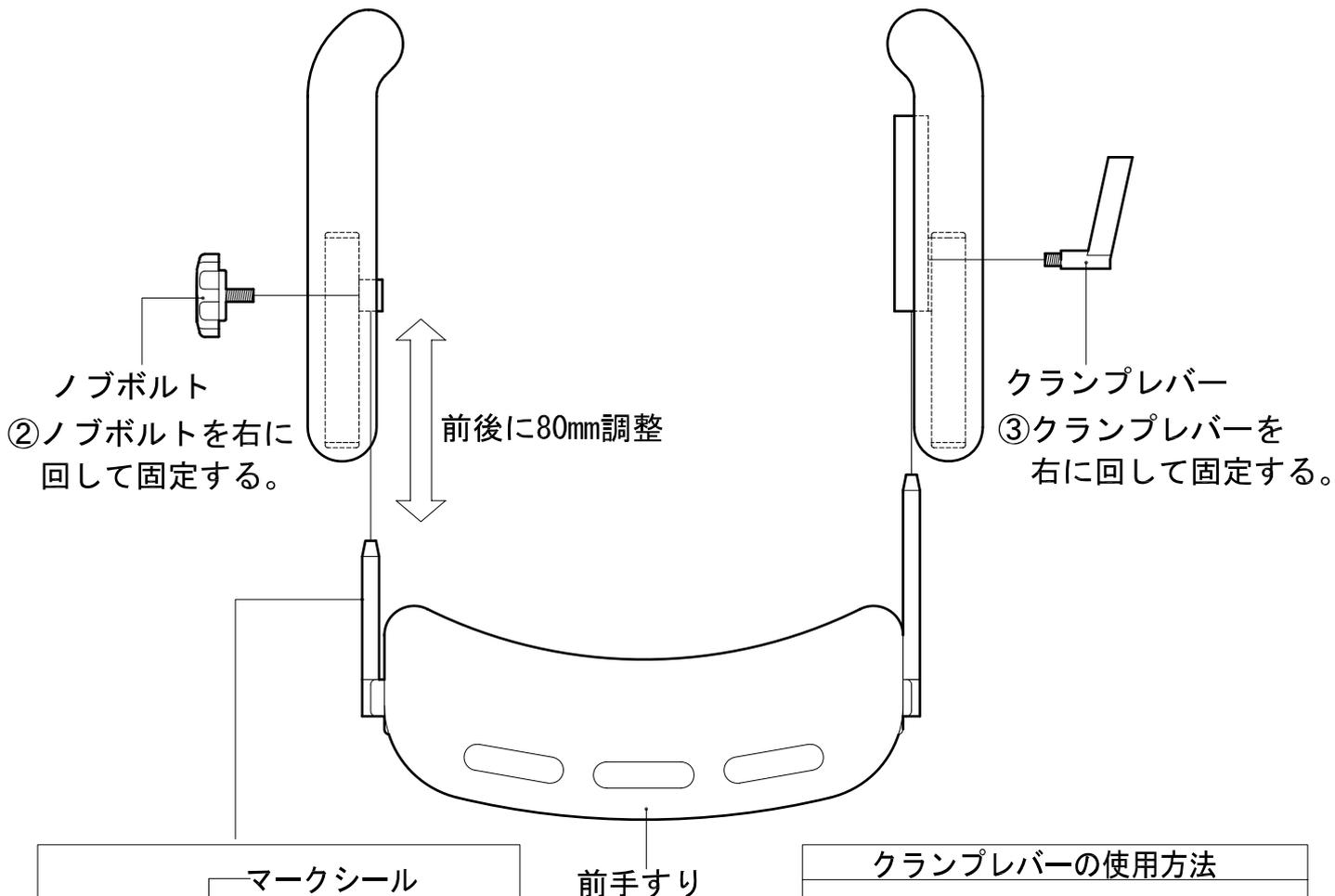
■ 施工のしかた ■

⑧ 前手すりの前後の位置確認

前手すりは前後に80mm無段階調整ができます。

下記手順で確認してください。

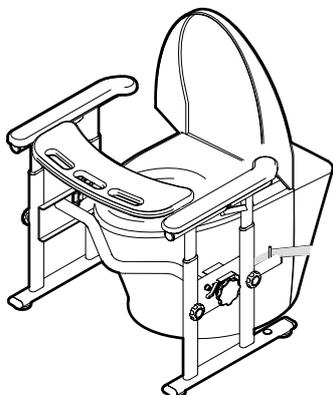
- ① 調節棒 右の先端部のシールが支え軸 右から越えてすべて見えるか確認する。
- ② 位置が決定しましたら、右側のノブボルトを右に回して固定する。
- ③ 左側のクランプレバーを右に回して固定する。
- ④ しっかりと固定されていることを確認する。



■ 施工のしかた ■

⑨ 安全の確認

ずれやガタツキが無いことを確認してから使用してください。



警告

ひじ掛けを持って前後左右に揺らし
便器と手すりが固定されているか確
認してください。

■ 施工後のチェック ■

施工後のチェックリスト

No.	項目	内容	参照ページ	チェック
1	部材の固定	幅調整ねじがしっかり締め付けられている (2カ所)	6 ページ	
2		ジョイントバーの便器取付位置が適正である。	6 ページ	
3		ベルトがしっかり締め付けられている。	6 ページ	
4		高さ調節ねじがしっかり締め付けられている。 (4カ所)	8 ページ	
5		前手すり幅調整用の六角穴付きボルトが しっかり締め付けられている。(4カ所)	9 ページ	
6	アジャスター の調整	ガタツキなく床面に接触している。(4カ所)	7 ページ	
7	前手すりの 動作	前手すりがスムーズに前後に可動する。	9 ページ	
8	設置確認	手すりを前後左右に軽く揺らして、ずれや ガタツキを確認する。	11 ページ	

■手すりを床に固定する場合■

本製品は床に直接取り付けることが出来ます。

(ねじ、アンカーボルトは別途お買い求めください。)

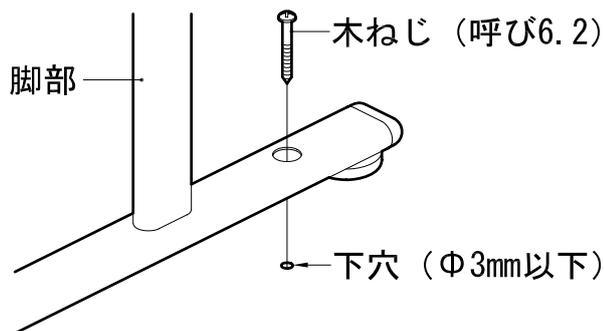
床が木の場合

必要な工具

- ・電動ドリル
- ・ドリル刃 (木用Φ3mm)

取付方法

- ①設置場所を決めた後、木用ドリル刃で下穴をあけてください。
- ②ねじでしっかり固定してください。



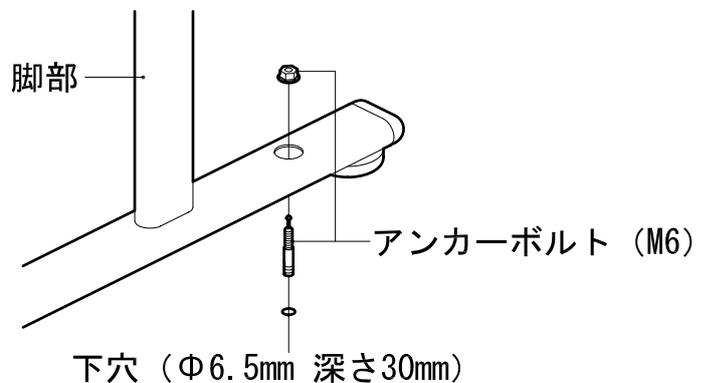
床がコンクリートやタイルの場合

必要な工具

- ・電動ドリル
- ・ドリル刃 (コンクリート用Φ6.5mm)
- ・ハンマー (アンカー固定用)
- ・ソケットレンチ (10mm)

取付方法

- ①設置場所を決めた後、コンクリートドリル刃で下穴をあけてください。
- ②下穴にアンカーボルトを差し込み、アンカーボルト上部のピンをハンマーでたたき込んでください。
- ③ソケットレンチでナットを締め固定してください。



※左右の脚部2カ所に固定してください。

木ねじ、アンカーボルトは別売りです。別途お買い求めください。

■メモ■

■メモ■

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お手入れ・お取り扱い・工事などのご相談は
まず、お買い求めの販売店・工事店へお申し付けください。

製品は厳格な検査を経ております。万一不具合がございましたら、
弊社またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

お客様ご相談窓口

お客様相談室フリーダイヤル 0120-^{ふくし}294-^{ようぐ}409

お客様相談室における個人情報のお取り扱いについて

株式会社タマツでは、お客様の個人情報やご相談内容をご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。



本社/山形県鶴岡市美咲町32-7(〒997-0857)
TEL(0235)23-6333/FAX(0235)25-3889



タマツ ホームページ